

資料 1

平成31年3月12日

教育振興部教育指導課

平成30年度いじめ防止実践事例発表会について

1 日 時 平成31年1月17日（木） 16:00～17:30

2 場 所 練馬区立生涯学習センター

3 参加者

(1) 来賓・登壇者	20人
(2) 「練馬区いじめ防止標語」表彰児童・生徒	28人
(3) 幼稚園教員（園長含む）	9人
(4) 小学校教員（校長含む）	63人
(5) 中学校教員（校長含む）	43人
(6) 保護者等	59人

222人

4 次 第

- (1) 練馬区教育委員会あいさつ
- (2) 練馬区いじめ防止標語表彰および紹介
- (3) いじめ一掃取組月間 「学校（園）奨励賞」表彰
- (4) 「学校（園）奨励賞」受賞校 いじめ防止実践事例発表

【授業・保育部門】

光が丘さくら幼稚園 「幼児期の人権感覚を高める取組」

本園では、「自分も大事 友達も大事 命が大事」を人権教育の目標とし、遊びや生活の中での指導、絵本の読み聞かせ、行事等の取組、地域との交流、保護者への啓発などを通して、幼児の思いやりの気持ちや人権感覚を育てている。幼児一人一人の内面に寄り添い、幼児の発達の道筋を見据えて援助することを大切にしながら日々の保育にあたっている。

【いじめ防止標語 最優秀作品】
（小学校一・二・三年の部）
わたしはきめた。
いじめは、ぜったいゆるさない。
大泉第四小学校 二年 鈴木 ひより

（小学校四・五・六年の部）
ふり返ろう 自分の行動 相手の気持ち
春日小学校 六年 北尾 虎汰朗

（中学生の部）
相談は「逃げ」ではなくて 前進だ
開進第二中学校 三年 河原 悠大

【児童会・生徒会部門】

光和小学校 「主体的に伝え合い、認め合い、高め合う児童会活動」

本校の代表委員会では、年間スローガンを「～はばたけ光和～仲良く一人一人が一生懸命チャレンジする」とし、11月のふれあい月間の際に「一人一人がいじめについて真剣に向き合い、標語に込めた自分の願いを発表し合ってクラスの標語を作りましょう。」と呼びかけた。また、一人一人にいじめについて真剣に考えてもらうため、6年生の児童を中心にオリジナル「劇」を作成し、全校児童に披露した。

石神井西中学校、関町小学校、石神井西小学校、立野小学校

「いじめをテーマにした児童・生徒会サミットの開催と『思いやりの木』の制作」

本グループでは、練馬区で進める小中一貫教育の取組の一環として、5年前から児童・生徒会サミットを開催している。今年度は「いじめ」をテーマに実施し、SNSなどをめぐるいじめやトラブルの防止についての発表と「思いやりの木」の制作についての提案を行った。児童・生徒一人一人が配られた葉っぱにいじめ撲滅についての決意を書き記し、「思いやりの木」を完成させた。

【保護者・地域との連携部門】

南が丘小学校 「保護者・地域との交流を深める勤労感謝給食、菊の花贈呈運動」

本校では、保護者・地域との交流の機会を意図的に設けている。「勤労感謝給食」では、お世話になっている保護者・地域の方を招待して、給食を食べながら日頃の感謝の気持ちを伝えた。また、「菊の花贈呈運動」では、6年生が心を込めて栽培した菊の花を地域の方々に届け、感謝の気持ちを伝えた。保護者や地域の方に児童の顔と名前を知ってもらう機会としても貴重であり、多くの目で本校の児童を見守ってもらうことにつながっている。

石神井中学校 「保護者と学校で作成した冊子『SNS 便利だけど 危ない！！』」

昨今SNSをめぐるいじめが多発していることから、本校では、保護者と協力して、SNSの正しい使い方に関する冊子「SNS 便利だけど 危ない！！」を作成した。「人としてのモラルを大事にしてほしい」、「スマートフォン・SNSの危険性を知ったうえで使ってほしい」という2点が伝わる内容となるように工夫した。本冊子は、全校生徒および保護者に配布した。